



# 2012年 新年ご挨拶

スーパー連携大学院コンソーシアムwebニュース  
2012年1月13日号

## ●2012年 新年ご挨拶

### スーパー連携大学院コンソーシアム 会長 梶谷 誠



あけましておめでとうございます。

今年は、昨年のような大災害が起こらないことを、また、日本の、特に被災地の復興・再生が順調に進むことを祈らずにはおれません。

昨年の東日本大震災は、私たちにさまざま教訓を残しました。

「モノは壊れて、消滅する」、しかし、「人の心は再生し、生き続ける」ことを再確認させてくれました。最後に頼りになるのは、人々の叡智とその協力です。優れた人材こそ、最後の頼みです。

我が国の最も重要な資源は人材であると言われてきました。歴史的にみても、教育に力を注いできた長年の蓄積が、危機的状況に陥っても、秩序を保ち、再生に立ち向かう日本国民の優れた資質を育んできたのです。

一方で、現在の日本の人材育成は、多くの問題、課題を抱えています。このままでは、日本の唯一の頼みの綱である人材力が弱体して、日本の存在が危うくなるかもしれません。

元気な日本を取り戻すことができるのは、若者たちです。若い人たちに思う存分力を発揮してもらわねばなりません。そのためには、若い優れたリーダーが必要です。彼らに、多様な分野で活躍してもらわねばなりません。全国の各地域でも、リーダーになってもらわねばなりません。

実社会で、社会のさまざまな課題解決に勇敢に立ち向かうことができるリーダーを育てるためには、どのような仕組みが望ましいか。多くの人と議論した結果の一つがスーパー連携大学院です。

スーパー連携大学院は、国公私立大学の枠を超えた連携、産業界を巻き込んだ連携、北は北海道から南は九州に広がる全国各地域の連携など、多様な広域産学官連携による人材育成を目指しています。真に実社会に貢献できる人材は、狭い枠に閉じこもった中では育たないという考え方によります。さまざまな枠を超え、壁を乗り越えた、豊富で多様な実体験の中でこそ、人は育つと確信しています。スーパー連携大学院は、その環境を用意しています。

スーパー連携大学院は、昨年から学生を受け入れはじめた発足したばかりの組織です。全国の志を同じくする先生方、企業の経営者、研究者・技術者、行政機関や研究機関などの協力と支援によって運営されています。

自らの力を思い切り発揮したい人、自分の力で新しい世界を切り開きたい人、自分の力で日本を、人類を救いたい人、自分の力で社会を、世界を驚かせたい人、スーパー連携大学院に参加しませんか？スーパー連携大学院で学んで世界に飛躍しませんか？